

かみ
自然の恵み・人のふれあい南アルプス邑

令和5年

広報 はやかわ

2023
10
No.708



南アルプス
ユネスコエコパーク

平成26年にユネスコより指定を受けています。豊かな生態系や生物多様性を保全し文化・経済・社会的に持続可能な発展を目指します。



the most beautiful
villages
in japan

早川町は平成22年より日本で最も美しい「村」連合に加盟しています。

9月16日、早川中学校において、第41回白鳳祭を開催しました。

今年のテーマは「結笑～燃やせ白鳳魂～」とし、久しぶりに一般公開をしました。多くの人々が合唱や演劇を楽しみました。

南アルプス
白鳳太鼓

9月町議会
定例会議案

令和四年度早川町一般会計決算等を承認

9月町議会定例会が、9月8日から15日の会期で開かれ、令和四年度一般会計決算等が審議されました。審議された内容は次のとおりです。

予 算

◆令和五年度早川町一般会計補正予算（第三号）

歳入歳出それぞれ6923万7千円を追加し、総額は28億3014万6千円となりました。

（歳入の主なもの）

▽繰越金 5967万7千円

▽県支出金 685万3千円

（歳出の主なもの）

▽総務管理費 1549万5千円

：職員駐車場進入路舗装工事等

▽農業費 1232万円

：古屋地内山ぶどう圃場獣害防止柵設置工事他

◆令和五年度早川町国民健康保険特別会計補正予算（第二号）

歳入歳出それぞれ34万3千円を追加し、総額は1億2112万6千円となりました。

（歳入の主なもの）

▽繰越金 34万3千円

（歳出の主なもの）

▽医療給付費分 24万3千円

▽介護納付金分 10万円

◆令和五年度早川町介護保険特別会計補正予算（第一号）

歳入歳出2134万1千円を追加し、総額は2億4002万9千円となりました。

（歳入の主なもの）

▽繰越金 2123万3千円

その他

◆早川町職員給与条例中改正の件

新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正により、当該対策実施のために派遣された職員に支給することができるとされている手当の名称が改正されたため、所要の改正を行うものです。

◆工事請負契約締結の件

町道小縄・千須和線弁天橋（南）補修補強工事について、次のとおり請負契約を締結することに同意されました。

工事場所

早川町小縄地内

契約金額金

7700万円

契約の相手方

早邦建設株式会社

契約の方法

指名競争入札

決 算

◆令和四年度早川町一般会計他13件の特別会計歳入歳出決算認定の件

◆令和四年度継続費の精算報告の件

◆令和四年度決算に基づく早川町健全化判断比率及び資金不足比率の報告の件

※決算の詳しい内容につきましては、次号にて紹介予定になります。

令和5年度山梨県民地域貢献者表彰を受賞

久田子の望月明晴さんが「山梨県民地域貢献者表彰」を受賞されました。今回の受賞は地域社会発展にご尽力された功績が称えられたものです。



「行政書士による無料相談会」を実施します

毎年10月を「行政書士制度広報月間」としており、事業の一環として県下一斉無料相談会を開催します。

日 時 10月14日（土）10：00～12：00
13：00～16：00

会 場 六郷町民会館
（西八代郡市川三郷町岩間495）

相談内容 遺言・相続・農地利用
・成年後見等

お問合せ 山梨県行政書士会事務局
TEL055-237-2601

合同相談会を開催します

◆日 時 10月11日（水） 午後2時～午後4時

◆会 場 早川町民会館1階農林研修室

行政相談委員・民生委員・人権擁護委員・保護司・消費生活相談員による合同相談会を開催しますので、お気軽にご相談ください。相談は無料・秘密厳守です。

詳細については、役場総務課☎45-2511にお問合せください。

※都合により写真を掲載していない方がいらっしゃいます。紹介は順不同です。



深沢ことさん(上湯島)



齊藤一二三さん(京ヶ島)



佐野岩雄さん(薬袋)

【米寿】

十五名



望月久弘さん(黒桂)



望月英子さん(樽坪)



望月たみ江さん(保)



天野きく子さん(老平)



太田幸子さん(新倉)

望月玉子さん(大島)
荒居花子さん(上湯島)
大野玉枝さん(大島)



望月利子さん(中洲)



望月静子さん(小縄)



望月光雄さん(茂倉)



望月啓子さん(草塩)

樋川武一さん(高住)

【白寿】

一名

白寿・米寿、おめでとうございますーいつまでも元気ぞ！
9月18日の敬老の日にあわせ、白寿・米寿を迎えられた皆さんへ町からお祝いが贈られました。今年、白寿・米寿を迎えられたのは左記の方々です。これからも健康に気をつけて、益々のご長寿をお祈りいたします。

～展示作品募集～

今年度より、文化の日を開催していた「早川町文化福祉健康まつり」は、「奥山梨はやかわ紅葉と食まつり」と同時開催することとなりました。

展示日時 令和5年10月29日(奥山梨はやかわ紅葉と食まつり開催日)

展示会場 町民体育館

日頃の活動の成果を発表、展示する場として開催いたします。

出品されたみなさんに参加賞をご用意いたします。

多くの方のご出展をお待ちしております。

■作品募集要項

①資格：町内在住または在勤者、設置準備に協力できる方

②出品方法：住所・氏名・勤務先・作品名等を明記して教育委員会へ提出

③種目及び締切：各部門次のとおり

作品搬入日、撤収日等については、申込後担当から連絡いたします。

文芸部門	○俳句・短歌・川柳・詩「締切10月17日」 ○一人5首(句)までとし、新作未発表の作品とし楷書でお書きください。 ※種目ごとに原稿用紙またはワープロ・パソコンにより打ち出したもの
美術部門	○絵画＝額装 ○書道＝条幅仮巻 ○写真＝額装 ○手芸○民芸品○彫刻○陶芸(一人5点以内※5点以上は要相談) 「締切10月20日」
盆栽部門	○生花○菊○盆栽○銘石○銘変木 一人1点のみ「締切10月20日」

○詳細・問合せ 教育委員会教育課 電話番号45-2547

お知らせ



あなたも、映画に出演してみませんか？

（公社）鯉沢法人会の青年部会・女性部会では、管内の小学校5・6年生を対象に、寸劇やクイズを交えた租税教室を実施しています。

管内の小學生に、税が社会に果たす役割の重要性を正しく理解し、関心を持っていただきたいと願い、寸劇を映画化(ショートフィルム)することを計画しております。

つきましては、出演者をオーディションで募集いたします。

募集の配役は、子供2名（10歳～12歳）・祖父・祖母・父・母の各1名となります

オーディション 日時 令和5年10月21日（土）

午前10時～12時または、午後1時～3時

場所 市川三郷町生涯学習センター「ifセンター2階」

電話対応での応募内容問い合わせ先 邦文堂 TEL 055-272-0218（一ノ瀬まで）

応募締め切り 令和5年10月11日（水）

尚、お申込み、応募要項等の詳しい内容はQRコードで確認できます。ご応募、おまちしています。



QRコード

河川内樹木の伐採・持ち帰りを希望する方を募集します

河川内の樹木は、洪水時には流れをさえぎり、また、ごみの不法投棄の温床になるなど、河川管理上の支障となっています。そこで、河川内に繁茂する樹木（ハリエンジュ等）の伐採、持ち帰り（無償）を希望する方を募集します。

伐採期間 令和5年12月上旬～令和6年1月下旬

場所 早川（早川町小縄・弁天橋付近）



募集期限 令和5年11月30日（木）

募集人数 2人程度（応募者多数の場合は抽選）

条件 県内在住で、営利を目的としない自家消費される個人や団体 ※他の条件など詳しくは県ホームページで確認して下さい

面積 約400㎡／人（樹径20～30cm、20本程度）

申し込み 山梨県峡南建設事務所身延支所（河川砂防管理課）

ホームページから応募用紙をダウンロードし、電子メールで申し込み

○山梨県峡南建設事務所（身延支所河川砂防管理課管理担当）

TEL：0556-62-9062 FAX：0556-62-9069

e-mail：mnk-kensetsu@pref.yamanashi.lg.jp

身延支所HPのURL：https://www.pref.yamanashi.jp/mnk-kensetsu/

お知らせ



～令和5年度 小児・高齢者インフルエンザ予防接種費用助成について～

【対象者】①生後6ヶ月以上18歳以下の者

※満18歳以下の者は、満18歳に達する日以後最初の3月31日までに限ります。

②接種日当日65歳以上の者

③60歳以上65歳未満の、心臓・腎臓もしくは呼吸機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有するものとして厚生労働省で定める者

【費用助成期間】令和5年10月1日～令和6年1月31日

【医療機関】山梨県内の医療機関

※接種を希望される方は直接医療機関へご予約ください。

【公費負担額】

区分		助成回数	助成額	支払い方法
小児	接種日において13歳以上18歳以下の者	1回	2,600円	医療機関で費用の全額を直接支払った後、申請書に必要事項を記入のうえ、領収書原本を添付し、福祉保健課窓口へ申請を行ってください。
	接種日において生後6月から13歳未満の者又は13歳以上の者で、医学的理由で医師が2回接種を必要と判断する者	2回	1回あたり2,600円	
高齢者	65歳以上の者	1回	2,600円	窓口で請求される自己負担額をお支払いください。
	60歳以上65歳未満の、心臓・腎臓もしくは呼吸機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有するものとして厚生労働省で定める者	1回	2,600円	

【注意事項】

- ・今年度対象者となる方には、個別に通知（小児の対象者には申請書含）を郵送します。
- ・新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンは同日接種が可能です。新型コロナウイルスワクチン以外のワクチン（高齢者肺炎球菌、定期予防接種等）を接種する場合は、片方のワクチンを接種してから2週間の間隔をあけて下さい。
- ・町内診療所で接種を希望される方は、ワクチンの準備があるため、接種を希望する診療日の前日までに、飯富病院（0556-42-2322）へ予約をしてください。

宝くじの助成事業を活用してやませみ区公民館のテレビ、エアコン及び空気清浄機の整備を行いました

一般財団法人自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業である「コミュニティ助成事業」を利用して、今年度やませみ地区において公民館のテレビ、エアコン及び空気清浄機を整備しました。これによりコミュニティの活性化を図ります。



お 知 ら せ



はやかわ地域おこし協力隊通信 ③

\\\\シェア畑、はじめました\\\\

こんにちは、集落支援員の太木です。支援員として活動を始めて3年目になりますが、活動の中では特産品が栽培されている各圃場を回らせてもらいつつ、自身でもいくつか遊休地を借受け、農業振興セミナーで紹介があったお野菜類や種を分けていただいた島根芋、茂倉うり、えごま等の栽培をしています。

防獣柵を張直すところから手を入れ、草刈り→耕運・根の除去→土づくりの順に開墾し、徐々に畑としての機能性が増してきました。だいぶ使いやすくなってきたかな？と思っていたところ、今年度に入って「畑、やってみたいんです」というお声がちらほら出てきました。いいですね～と言いつつ、よぎるこれまでの工程。仮に早川農業の3大課題と名付けてみましょう。

1. 獣害対策 2. 遊休地開墾・土作り 3. 日照不足・傾斜地等地理的条件への適応

これらがクリアできてから、何を作ろうか。いつどの辺に植えようか。収穫したら何しよう。といったイメージを膨らませることが出来ますよね。そこで、自身でお借りしている区画の一部であれば、1・2は済んでいるので、すぐに作付けを始めてもらえるのでは？という思いに至りました。中でも中洲集落の200㎡ほどの畑は、県道に面していてアクセスが良く、平らで何より土の層が比較的厚く耕作しやすいということで、畑を紹介してくださった方に承諾を得て、早速畑に挑戦してみたいとお声掛けをいただいた2家族の方と、モニターのシェア畑を実施することになりました。ゆくゆくは貸し農園として制度化していけるよう、広さや価格帯、道具貸出等サービスの内容など、実際に耕作をしながら意見交換していけたらと思っています。

もし、ちょっとだけお野菜などつくってみたいな、という方がいらっしゃいましたら、試しにお声掛けください。自分用の区画は不要だけれど、農作業はやってみたいという場合は、NPO法人早川エコファーム（おばあちゃんたちの店）が農体験の受け入れなど実施されているので、ご要望に応じてお問い合わせを～。



南アルプス邑野鳥公園だより②⑥

「青空の下で稲刈り！」

9月に品川区&早川町交流バスツアー稲刈り・サツマイモ掘り体験とお餅つきが開催されました！春に品川区の皆様が植えた稲の苗たち。その後、早川の水と空気を吸ってすくすくと立派に育ちました。金色に垂れ下がった稲穂の上をたくさんの赤とんぼが飛ぶ中で、いざ収穫！NPO早川エコファームの指導の元、鎌でひとつひとつ丁寧に収穫しました。始めは鎌の扱いに慣れず苦戦していた参加者の方もだんだんと上手になり、無事に2面の稲を刈り取ることが出来ました。

その後は、畑でサツマイモ収穫！しっかりと根を張ったお芋を掘るのは中々大変ですが、泥だらけになりながら、たくさんのサツマイモを掘っておられました。翌日には昨年採った餅米を使って、お餅つき！よいしょ、よいしょと威勢の良い掛け声が響きました。自分でついたお餅はきっと格別の味がしたことでしょう。

このツアーで野鳥公園は、各種体験のサポートと田んぼや畑の生きものの観察を担当させていただきました。

品川区の皆様は「春に自分で植えた稲を収穫出来て嬉しかった」「初めて餅つきをして楽しかった」などのお声を頂きました。



お知らせ



令和4年度 早川町教育委員会活動の点検・評価を公表します

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しています。

早川町教育委員会では、それぞれの項目について前年度の点検・評価を行い、上・中・下の3段階による評価を実施しました。評価の結果と各項目に対しての所見は次のとおりです。

教育委員会では今回の点検・評価の結果を踏まえて、事務改善を図りながら更なる教育行政の推進に努めてまいります。

令和4年度早川町教育委員会活動の点検・評価

(委員4名・職員6名＝10名)

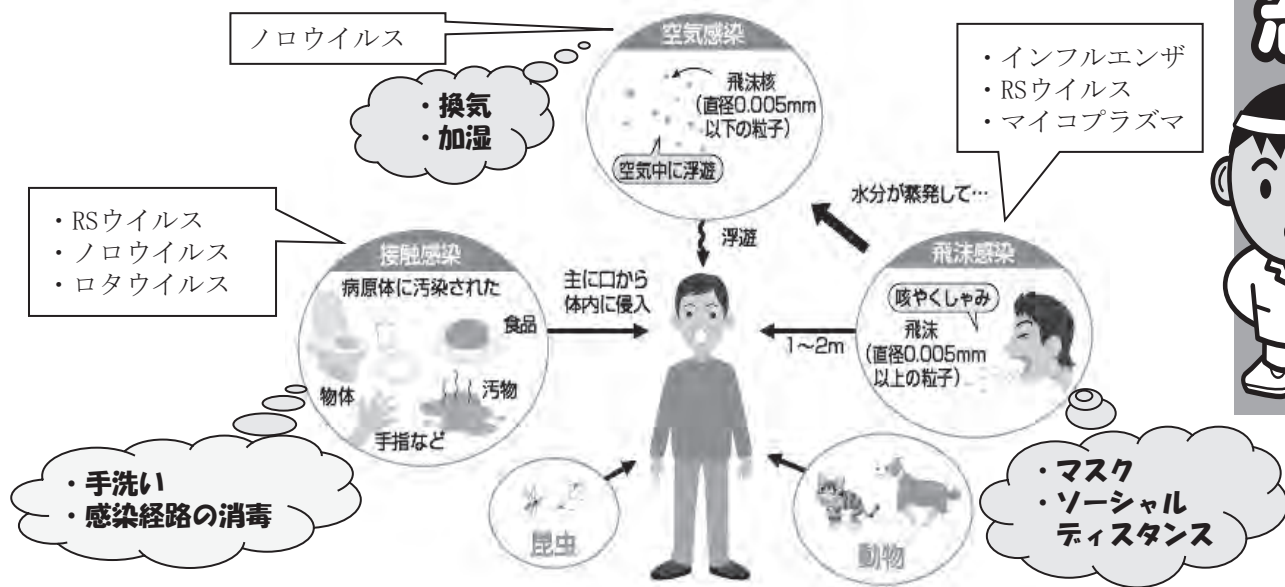
項目	観 点	R2 評価	R3 評価	R4評価	上	中	下	所 見
総 合 評 価	① 魅力的な山村の学校教育の実現を目指す。	上	上	Ⓐ 中 下	7	3	0	昨年に続くコロナ禍の中で、日常生活はもとより学校教育・社会教育全般に影響があった一年となったが、感染者は少なからずいたが、最小限の影響で教育活動が行えた。 そのようななかで、早川町長期総合計画、教育大綱等に基づき、早川教育の確立に向けて、学校、地域、教育委員会、行政の関係各機関が緊密な連携を図り、教育行政に取り組んでいた。新型コロナウイルス感染症の5類移行を見据えて、今後のアフターコロナの教育活動継続に取り組んでいく。 山村の小規模校であるメリットを最大限に生かし、各学校において個性と特色のある学校運営を推進すると共に、地域住民との連携による地域ぐるみの教育の充実に努めている。児童・生徒の諸課題は少なからず見受けられるが、保護者の理解を求め、学校・教育委員会等それぞれが協力して、課題の解決にあたっていく。 児童・生徒数の確保は喫緊の課題であるため、山村留学制度の更なる推進を図り、引き続き児童・生徒数の確保に努めていく。 社会教育においては、コロナ禍の影響によるイベント等の中止・縮小により、活動が停滞、伝統的山村文化の担い手減少により、文化の保存、継承は厳しい状況に置かれている。新規の生涯学習活動等の検討により、伝統文化の継承に努める。また文化財の積極的な保存・保護にも努める必要がある。
	② 学校・地域ぐるみの教育の充実に努める。	上	上	上 Ⓐ 下	4	6	0	
	③ 社会教育の充実に努める。	中	中	上 Ⓐ 下	0	10	0	
	④ 伝統的山村文化の保存・継承と創造に努める。	中	中	上 Ⓐ 下	0	10	0	
学 校 教 育	⑤ 生きるちからを育む教育を推進する。	中	中	上 Ⓐ 下	1	9	0	児童生徒数の減少が続いている中、各学校の特色を生かした少人数教育を積極的に推進し、学校現場と地域との密接な交流を通じて、小中3校体制での早川教育の推進を図っている。 義務教育経費無償化事業・給食費無料化事業を継続する事により、義務教育に掛かる子育て世代の負担軽減を図り、子育てしやすい環境の整備に努めるとともに、小規模校ゆえの教員配置等のデメリットを解消し教育水準を向上するため、町単教員を配置する事で、複式学級の解消に努めている。 教育現場でのICT環境整備のため電子黒板等必要な機器の整備を進めるとともに、学校施設長寿命化計画に則り、経年劣化による改修等を実施し、快適な教育環境の提供に努めている。キガスクールにより整備したICT機器の家庭持ち帰りを含めた今後の学校現場での活用が、今後の課題となる。 南小の器楽活動、北小の民話劇や自然体験活動、中学校の合唱や白鳳太鼓等、それぞれの学校が特色ある教育を行っているが、児童生徒数の減少で厳しい面もある。今後もその活動が継続できるよう教育委員会はもとより、地域ぐるみで支援していく。 小中学校における不登校等諸問題の解決には、保護者の理解が不可欠のため、学校・教育委員会と相互に連携しその解決に努める必要がある。 山村留学は、昨年度より始めたオンラインによる説明会を定期的に開催するとともに、新たな取り組みとして公式インスタグラムの運用を始めることにより、1世帯2名の児童を新年度に迎入れることとなり、一定の成果をあげることができた。アフターコロナを見据えて情報発信を進め、留学後のギャップ解消等関係機関と連携した取り組みの強化により、児童・生徒の確保に一層努める必要がある。また、SNS等を活用した積極的な情報発信により、地域と学校の魅力を発信し、新たな留学希望者の発掘と留学者の増加による児童生徒数の確保につなげていく。
	⑥ 少人数教育の充実を図る。	上	上	Ⓐ 中 下	8	2	0	
	⑦ 充実した教育機器と学校施設の活用を図る。	上	上	Ⓐ 中 下	7	3	0	
	⑧ 個性ある学校の充実に努める。	上	上	Ⓐ 中 下	6	4	0	
	⑨ 学校間の交流を推進する。	中	中	上 Ⓐ 下	1	9	0	
	⑩ 山村留学の推進を図る。	上	上	上 Ⓐ 下	5	5	0	
	⑪ 学校開放と地域との連携を図る。	中	中	上 Ⓐ 下	1	9	0	
社 会 教 育	⑫ 生涯学習の推進を図る。	中	中	上 Ⓐ 下	0	9	1	昨年に続くコロナ禍のため中止・縮小となる行事もあったが、グランドゴルフ大会等を通じて、町民が活発にスポーツに親しめる機会を提供することができた。高齢化等による参加者の減少が課題となるため、広報活動や新種目の普及に努め、生涯スポーツの推進を図っていく。スポーツ施設整備については、グラウンド照明のLED化事業を行い、夜間環境の向上を図った。 社会教育では、少子高齢化の中、伝統芸能・行事の保存には苦慮している。しかし、転入住民の積極的な参加により活性化している例もあることから、それぞれの価値を再確認し積極的な住民参加を促し、伝統芸能・文化の継承に努める。 公民館活動・文化祭については、コロナ禍もあり町民の生涯学習への意欲の低下が懸念されるため、町民の関心をとらえながら行事自体の内容について、検討していく必要がある。 重伝建事業については、来年の30周年に向けて実行委員会を開催し内容の議論が行えた。また、予算措置等実施に向けての準備も行うことができた。イベント開催に向けて引き続き準備を進めていく。来年度は保存事業も予定されているため、事務事業の適正な執行を心がける。重伝建全体としては、保存・活用の今後に向けた方向性について、地元・保存会と連携して考えていく必要がある。
	⑬ 生涯スポーツの推進を図る。	上	上	Ⓐ 中 下	6	4	0	
	⑭ 郷土資料館の整備と充実及び運営を行う。	中	中	上 Ⓐ 下	0	10	0	
	⑮ 伝統芸能・行事等の保存と人材育成を図る。	中	中	上 Ⓐ 下	0	8	2	
	⑯ 生活文化等の保存に努める。	中	中	上 Ⓐ 下	0	9	1	
	⑰ 伝統的な町並みの保存と継承に努める。	中	中	上 Ⓐ 下	3	7	0	
教 育 委 員	⑱ 教育委員は誠実に職務を遂行していますか。	上	上	Ⓐ 中 下	7	3	0	毎月の定例会を通じて教育行政全般について厳正な審議が行えた。また、コロナ禍ではあったが学校行事や学校訪問等を通じて教育環境を把握し、諸問題の解決に向けて話し合い、迅速に対応することができた。また、総合教育会議を通じて、町当局とも積極的に意見交換ができた。
事 務 局	⑲ 事務局職員は誠実に職務を遂行していますか。 (服務・接客など)	上	上	上 Ⓐ 下	4	6	0	少ない人数の中で課員一丸となり、協力して教育行政全般に取り組むことができた。 今後も課内の連携を密にして、様々な教育課題に対応し、早川教育の推進に努める。また、服務規律を徹底し、丁寧かつ迅速な対応に努める。

家族と自分を感染症から守る

新型コロナウイルスは通年ですが、これからの季節、インフルエンザ、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎、ノロウイルス感染症、ロタウイルス感染症など、秋から春先にかけて気をつけなければならない感染症が多くあります。高齢者や子どもが感染すると重症化するものもありますので、本格的な感染症の季節に向けて、今一度、感染症について考え、備えましょう。

感染症の主な感染経路と、それを防ぐ方法は？

感染症の予防は感染経路を絶つこと。そして、手洗い・うがい、規則正しい生活、バランスの良い食事、適度な運動をし、ウイルスや病原菌を跳ね返す体力をつけておくことです。



保健の窓



感染症に備えて、備蓄していますか？

感染症にかかると多くの方が外出を控えると思います。備蓄品の内容や必要量は、家族構成、乳幼児・要介護者の有無によっても大きく変わります。一般的に必要なと思われるものを紹介しますので、他にも必要だと思う物や、必要な量をみなさんそれぞれで考えてみてください。

1. 日用品

- ティッシュペーパー □トイレットペーパー □生理用品 □ハンドソープ □ウエットティッシュ
□アルコールティッシュ

2. 食料品

- 主食（米、パン、麺類など） □菓子類（チョコレート、クッキーなど） □インスタント食品
□缶詰 □レトルト食品 □栄養補助食品 □基本的な調味料 □スポーツドリンク

3. 感染対策製品

- 体温計（できればパルスオキシメーター） □マスク □使い捨てエプロン □使い捨て手袋
□ビニール袋 □アルコールや塩素系漂白剤（手指や掃除、汚物の片付けに使用）
□ゴーグルまたはフェイスガード □何種類かの大きさの違うゴミ袋（用途に応じて2重にすることも）

4. 医薬品

- 持病の処方薬 □冷却ジェルシートや氷枕等の冷却材 □ばんそうこう □解熱剤 □総合感冒薬
□胃腸薬

5. その他

- 飲料水 □懐中電灯 □乾電池 □携帯電話の充電器 □現金 □使い捨てカイロ

6. 赤ちゃん用品、介護用品

- おむつ、おしりふき □レトルト離乳食、レトルト介護食 □ミルク、哺乳瓶、マグ □コットン
□介護用高カロリー食品、飲み物

〈引用・参考文献〉

- ①ホームページ大幸薬品健康情報局「感染症とは何？」
②岡田晴恵著、株式会社KADOKAWA発行、「予防と対策がよくわかる家族と自分を感染症から守る本」

保健師 佐野

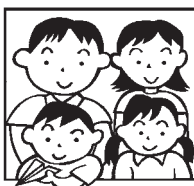


ふれあいひろば



早川北小学校3年生

(左から) 稲石圭吾さん 竹下千早さん



こどもの
せかい



「ぶどう」

南保育所 もちづき ゆとら さん

おおきくなったら
野球選手になりたいです。

早川北小学校三年生作文

「二学期がんばりたいこと」

稲石圭吾 (いないし けいご) さん

ぼくが一学期にがんばったことは図工です。一生けんめいに作ったら、気に入った作品ができました。二学期もがんばりたいと思います。また、今学期は「わらべどんぐりまつり」があります。北小の楽しい行事なのでがんばりたいです。体育で一りん車のえんぎや北小たいそうがあります。ぼくはきき年、北小にきたので、おまつりがはじめてだったので、いろいろなことがうまくなってきました。しかし、今年は一りん車にのることができるようになつたし、体そうもおぼえました。かつこいいところを見てもらいたので、がんばりたいです。ほかにも音楽の楽器えんそうやみん話げきの発表もあります。今回はせりふがあるのでもちがえないようにしたいです。ぼくは実行委員なので、みん話げきをせいこうさせたいです。「元氣笑顔十四人の心をひとつに」というスローガンがあります。みんなで力を合わせて楽しい「わらべどんぐりまつり」にしたいと思います。

竹下千早 (たけした ちさ) さん

わたしが二学期にがんばりたいことは、二つあります。まず一つ目は、テストで百点をとることです。どうしてかという、一学期は、あまり百点をとることができなかったからです。だから、二学期は、たくさんべんきょうして、百点をとりたいです。他にも、算数プリントや自しゅ学しゅうも百点をとって家ぞくにほめてもらいたいです。

二つ目は、わらべどんぐり祭りです。なぜならば、民話げき、音楽発表、体いく発表、みんなで力を合わせて、せいこうさせて、よろこびあいたいからです。体育では北小体操と一輪車をかっこよく演技したいです。民話げきでは、セリフや動きをおぼえて、役になりたいです。音楽発表でもみんなと合わせて演そうしたいです。スローガンは、「元氣・笑顔 十四人の心を一つにしてがんばろう」です。

町民文芸一俳句

早川町二十日会

親も出て線香花火雨上がり

早川 俊英

施餓鬼会や若き僧侶の声高し

早川 和子

五六回鳴いて飛立つみんなみん

保坂 紀恵

夏の果て講中宿の明かりかな

長谷川 縫子

爽やかや僧と唱える寿量品

望月 和枝

夏の宵華やぎ放つ油障子

望月 眞智子

いつもより信号長き残暑かな

柴田 彩子

寄り添うて岩松ふたつ池の隅

望月 克彦

売店に今年も並ぶ茂倉瓜

萩原もえか

絵日記を溜めし記憶も法師蟬

諏訪 恭市



まの話題



全国ハーブサミット早川大会



9月16日、町民会館において第28回全国ハーブサミット早川大会を開催しました。全国から多くの人々が集まり、講演会や交流会を行いました。

第76回体育祭りの様子



9月16日、小瀬スポーツ公園武道館において第76回山梨県体育祭りの総合開会式が行われました。今年は、本町が代表で選手宣誓を行いました。

保育園運動会



9月9日、早川南保育所において運動会を行いました。あいにくの天気でしたが、元気に楽しみました。

デイサービスの夏祭り



8月29日、早川デイサービスで夏祭りが行われました。射的や輪投げをして楽しいお祭りになりました。

国の伝統的建造物群保存地区（重伝建）に選定されている「赤沢宿」は、今年で早いもので30周年を迎えています。地元は、町並みを維持してきたことに感謝を申し上げます。

夏、この記念イベントが11日間にわたり行われました。行事のメインの一つに、地元で活用してきた油障子の伝統を活かして、油障子美術展を行いました。江戸屋、大阪屋、清水屋の三軒の保存家屋にライトアップをし、夏の夜の赤沢宿を自然の闇の中に浮き立たせ、より赤沢宿の印象が話題になりました。作品は、画家の伊東正次さん、棚町宣弘さん、映水さんをはじめ地元身延高校から県内8高校の美術部生徒さんたちの参加で、「重伝建の赤沢宿」として広く全国に印象付けることができました。

赤沢宿が重伝建として国から選定を受けたのは1993年（平成5年）全国で35番目（現在126の選定地域あり）でした。そして、講中宿部門では、町並みの中でも特異性において貴重な存在となっています。

重伝建選定の取り組みは、昭和50年代半ばから地元で始まりました。若い人たちの他出で休止していた村を守る赤沢青年同志会が復活し、赤沢宿の歴史的価値と文化的価値を後世に残すため重伝建の選定に向かっの動きが始まりました。昭和60年に全国町並み保存連盟に加入し、国への重伝建選定に向かっの作業に町が取り掛かりました。一方で同志会の初仕事は、村を挙げて七面山参拝の往還の赤沢宿中の石畳道の再生が始まりました。平成元年、国の手作り郷土賞・いこいとふれあいの道全国三十選に、平成4年、美しい日本の村景観コンテストにおいて「赤沢宿の石畳」が選ばれました。そして平成5年、待望の重伝建選定を受け今日に至りました。

30年前、赤沢宿にこの動きが始まっていなかったら、今日の赤沢はどうなっていたらと思うのは私だけではないように思います。村を守り、生かすことは、明日につながることで、赤沢宿の町並み保存は、これからのいよいよ本番を迎えるところに来ました。将来にわたり地域が生き残るための地域づくりの代表を目指して、赤沢宿の活性化により一層の努力を続けようではありませんか。

こんにちは町長です

人の動き 人口896人 男456人 女440人 世帯数549戸（9月1日現在）